

次世代 IP ネットワーク推進フォーラム 研究開発・標準化部会会合(第 4 回) 議事録

日時:平成 21 年 3 月 13 日(金) 10:30~11:20

場所:虎ノ門パストラル新館 6 階「ロゼ」

出席者

研究開発・標準化部会長 浅谷耕一(工学院大学)

ホームネットワーク WG リーダ 丹康雄(北陸先端科学技術大学院大学)

他 29 名

総務省

通信規格課 田中課長他

事務局

情報通信研究機構 伊藤グループリーダー他

配付資料

資料 1 戦略検討 WG 報告及び今後の活動方針

資料 2 ホームネットワーク WG 報告及び今後の活動方針

参考資料 1 研究開発・標準化部会(第 3 回)議事録

参考資料 2 研究開発・標準化部会 設置要綱

参考資料 3 研究開発・標準化部会 構成員一覧

参考資料 4 第 3 回定期総会概要

議事内容:

1. 開会 (事務局)

2. 総務省挨拶 (田中課長)

昨年開催された WTSA08 で、NGN を中心とした大きな SG が構成された。

この会議において、産業界を引き付けるためにはわかりやすい研究体制が必要であること、これまではキャリア中心の体制であったが、IP 網になりキャリアだけでなくメーカーがうまく活動できるような SG の体制、サービスオリエンティッドな SG 構成が必要であることを日本が主張した。結果として実現はできなかったが、途上国から見れば重要な考え方であり、サービスオリエンティッドな考え方で会議を進めていく雰囲気を作ることができた。

また、IP 網になって相互接続性の重要性が認識されてきており、ITU マークを付けることについての議論が行われた。日本はこれまでの経験を踏まえ、ITU マークを付けること自体に意味があるのではなく、それに向かって相互接続性を高めることが重要であることを主張し、会場に関心を持たれた。欧米の状況に対して先に進みすぎてもいけないが、本部界では相互接続性という観点で、活動を進めていただくことを期待している。

先月、次世代ホームネットワークの公開サービス実験を行った。次世代ホームネットワークは、ブロードバンドと繋いで外からサービスを家庭や事業所に流し込んでいく重要なアプリケーションであり、様々なサービスを乗せるための共通プラットフォームを構築することが最も重要な研究課題である。本部会の活動は、WTSA08 で日本が主張したことと重なっており、今後の活動に期待している。

3. 配付資料確認

事務局により、配布資料の確認がなされた。

4. 議事

(1) 戦略検討 WG 活動報告及び今後の活動方針について

資料 1 に基づき、浅谷戦略検討 WG リーダより説明。

質疑応答: 特になし

(2) ホームネットワーク WG の活動報告及び今後の活動方針について

資料 2 に基づき、丹ホームネットワーク WG リーダより説明。

質疑応答:

田中課長: ロードマップの公開は、どのように行われるのか。公開の際には、サービス事業者に呼びかけるなどしていただきたい。

丹リーダ: アーキテクチャおよびユースケースについては様々な資料を作っており、NGN フォーラムの HP からパスワード無しでの資料のダウンロードという形で発信している。広報の場としては、年に 2 回、年度末の実証実験と CEATEC があり、CEATEC では TTC および HATS と共同でホームネットワークのブースを出展し、広報活動を行っている。どちらも来場者への説明のみになっているので、広報という観点ではもう少しアイデアが必要である。この点については持ち帰って検討したい。

(3) 第 3 回定期総会(3 月 18 日)への報告について

浅谷部会長: 部会長から総会において報告を行う。報告の内容については、部会長一任とさせていただきます。

決定事項:

第 3 回定期総会での報告内容は、部会長一任ということで承認された。

(4) その他

次回の予定について

事務局より説明

- ・ 次回会合は、来年 3 月を目途に開催予定である。詳細は WG の状況を踏まえ、別途連絡する。

第 3 回定期総会について

参考資料 4 に基づき、事務局より説明

5. 閉会 (浅谷部会長)